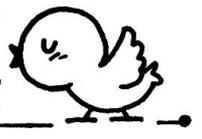




研究通信

No.6



呉市立広南小学校

令和8年1月6日(火) 文責:金原

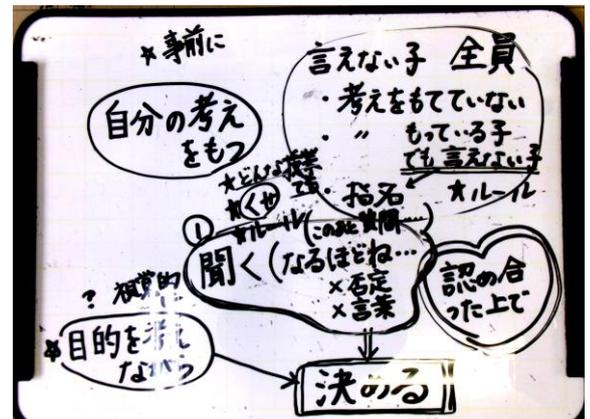
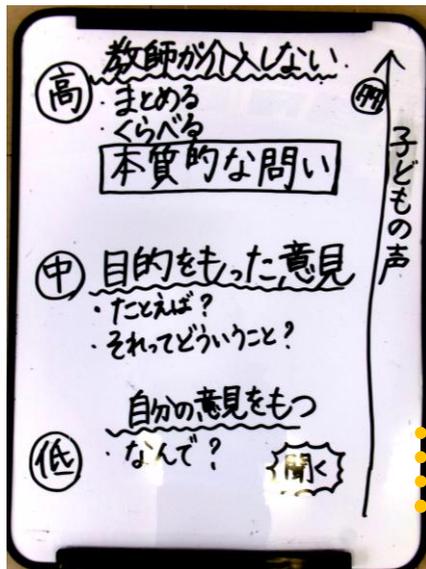
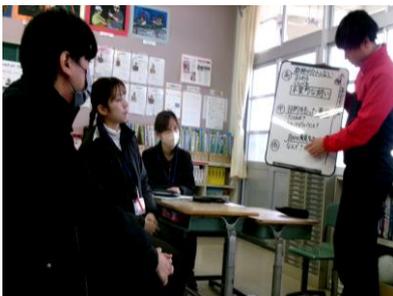
いよいよ、学年最後の3学期が始まります。冬季休業中に行われた木下先生によるミニ研修や5年生『ブランコ乗りとピエロ』の学習指導案検討では、自分のこととして熱心に協議しているお姿から、残り少ない今年度をより充実したものにしたいという先生方の熱い思いを感じました。

3学期は修了式まで**52日間**しかありません。これまで研究してきた道徳科や他教科における**“考え、議論する姿”**とは具体的にどのような姿であるのか、またどのような指導手法によって、その姿が具現化できるのか、共有したイメージを今後の実践へと移していけるといいですね。

木下先生が提案してくださった**2weeks チャレンジ2nd**に記入したことに近づけるために、「自分にできそうなこと」「やるべきこと」をしっかりとったうえで授業に臨んでいきましょう。

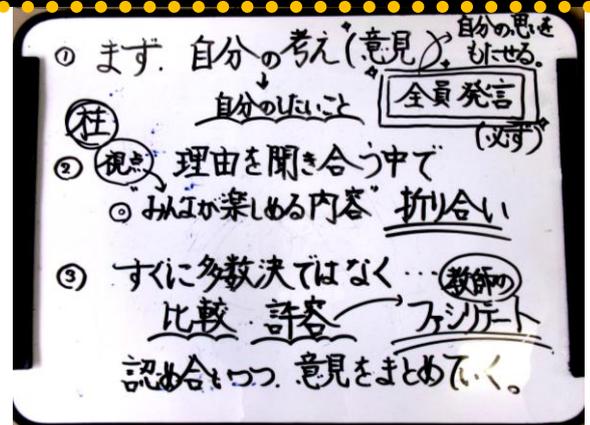
★ 12月24日 木下先生によるミニ研修②を通して ★

◆対話【テーマ】学級活動の時間にお楽しみ会の計画を立てます。
子どもたちの「考え、議論する姿」を具体的に考えると…



子どもの発言を教師がファシリテート

どのグループの対話にもあがっていたのが、子どもたちが議論するうえで大切なのは…
「自分の考え(意見)をもっているということ」



「なにを言ってもいい」ではなく、「みんなが楽しめるような内容を計画する」という**目的を共有することの必要性**についての意見もありました。人それぞれの考えを認め合いながらも、『それなら納得できる!』と、**①“共通理解”を見出すことができる ②実践可能な内容にたどり着くことができる** 子どもたちがそんなふうに語り合う姿が「考え、議論する姿」であると言えますね…。



『2weeks チャレンジ2nd』

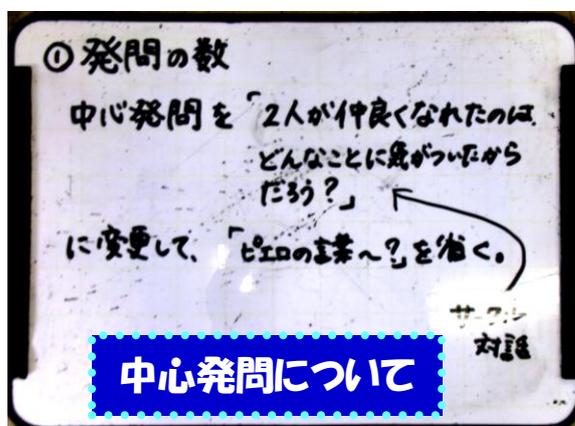
ミニ研修②で各自が記入したものは山崎先生の席の後ろのホワイトボードに木下先生が掲示してくださっています。

毎日一度は確認し、放課後に振り返る習慣をつけましょう。

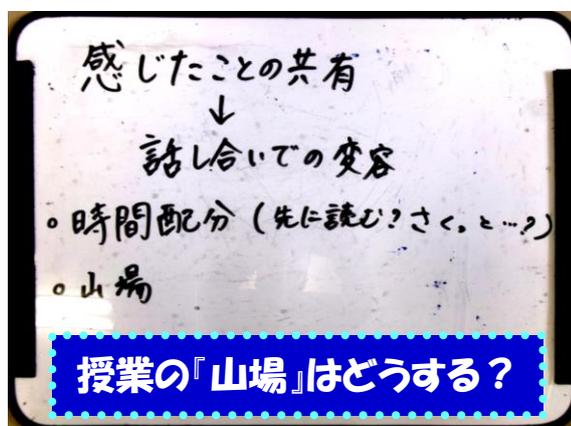


★ 次回1月19日(月)のミニ研修③で『2weeks チャレンジ2nd』についての振り返りがあります。

★ 第5学年 道徳科 学習指導案検討を通して ★



- ① 描写などが駆使された教材 → 難しさ
- ② ピエロ・サム両者の気持ちを往還させると... → 混乱
- ③ 時間配分



① 導入 → 本時のねらいに合った効果的なアンケートは…

- ◆ 「乗り越えられた経験」より「乗り越えられなかった経験」を事前アンケート
(例) **これまでに友達の考えが自分とちがった時、困った経験はありますか。そんな時、みんなはどうしていますか。**

② 展開前段 → 子どもたちに教材をどう出合わせるか…

- ◆ 「この教材でどのようなことを考えさせたいか」 → **視点を焦点化**
- ◆ 状況理解をさせるための押さえどころを精選 → **全ての子どもを同じ土俵に**
- ◆ 教材VTRの活用 → **状況理解を促すための手段の1つとして**

③ 授業展開 → 教材を通して“自分ごとにする授業”に…

- ◆ ピエロや団員はサムの行動を許すことも憎しみが消えたわけでもない…
「考えの違う人を許すことはできない」「人の意見を簡単に受け入れられない」
(対話例) **考えの違う二人がなぜ理解し合える関係になれたのだろう。**
- ◆ サムとピエロどちらも『観客を楽しませたい気持ち』 → **共通の思いへの気付き**
【変容】自分のことばかりを考えるのではなく、**相手の立場や気持ちを理解**